

制御文とは

• foreach文とは

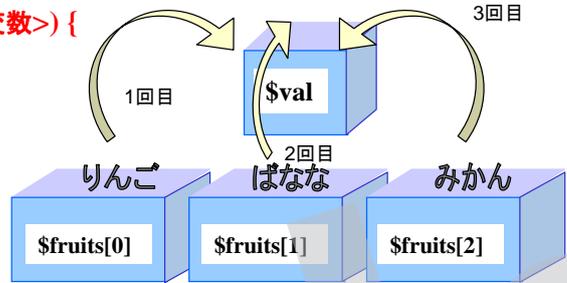
処理を繰り返す。と言う部分はfor文と似ていますが、for文は決められた回数分処理を行うのに対し、foreach文は配列の中に入れられた値を順番に取得するために使います。

```
foreach (<配列> as <変数>) {  
    処理;  
}
```

右図の配列をforeach文で表すと・・・

```
foreach ($fruits as $val) {  
    echo $val . "<br />";  
}
```

※画面表示はノートを参照



配列\$fruitの値をいったん\$valにいれ、要素があるものを全部取得できます。

foreach文の説明	例	説明
配列	\$fruits	取り出したい配列の配列名を指定します。
変数	\$val	配列の中身をいったん変数に入れて処理を行うため、変数を用意します。変数名は自由に付けてかまいません。

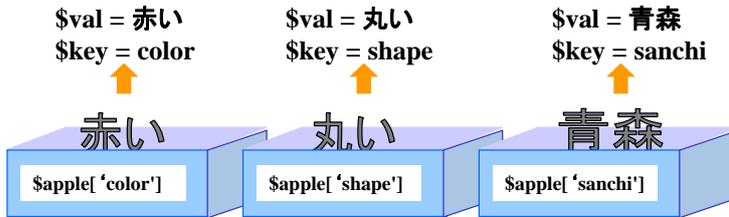
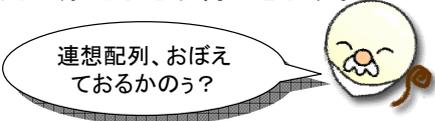
■画面表示

りんご
ばなな
みかん

制御文とは

foreach文は配列だけでなく、連想配列の値と、連想配列の添え字も取得できます。

```
foreach (<配列> as <キー変数> => <変数>) {
    処理①
    処理②
}
```



左図の配列をforeach文で表すと・・・

```
foreach ($apple as $key => $val) {
    echo $key . "は" . $val . "<br />";
}
```

※画面表示はノートを参照

foreach文の説明	例	説明
配列	\$apple	取り出したい配列の配列名を指定します。
キー変数	\$key	連想配列の添え字がこの変数に入ります。変数名は自由に付けてかまいません。
変数	\$val	配列の中身をいったん変数に入れて処理を行うため、変数を用意します。変数名は自由に付けてかまいません。

- 画面表示
 - colorは赤い
 - shapeは丸い
 - sanchiは青森

制御文とは

例題2 foreach文を使ってみよう

PHPエディタを開き新規作成で下記のように入力しましょう。(黒字部分のみ入力してください)

lecture04_e02.php

```
<html>
<head>
<title>PHP基礎講座 4回目 例題2</title>
</head>
<body>
<?php

//配列定義
$fruit = array(0 => "イチゴ", 1 => "ばなな", 2 => "マンゴー", 3 => "キウイ"); ①

foreach ($fruit as $val) {
    echo $val;
    echo "<br />";
} ②

?>
</body>
</html>
```

Global E-Network Co.Ltd.

11

■メモ

入力したら保存しサーバにアップロードしてください。

アップロードが終わったらURLにアクセスしてみましょう

http://ドメイン名/保存ディレクトリ名/~ユーザー名/lecture04_e02.php

※GENETのサーバを借りている方は下記のように記述します。

http://genet.jp/study/PHPBasic/~ユーザー名/lecture04_e02.php

■画面表示

イチゴ

ばなな

マンゴー

キウイ

■解説

① `$fruit = array(0 => "イチゴ", 1 => "ばなな", 2 => "マンゴー", 3 => "キウイ");`

配列\$fruitに値を入れています。忘れた方は2回目のテキストを復習しましょう

② `foreach ($fruit as $val) {`

foreach文で繰り返し、配列\$fruitの値を\$valに格納して表示させています。